

令和2年度 予算の概要 参考資料



学校法人愛知医科大学

令和2年度予算について ＜予算編成方針＞

学是「**具眼考究**」の実践実現

ACCUMULATION & INNOVATION
(チカラを蓄え, 改革に挑む)

- ・ 持続可能な盤石な経営基盤の構築のため, 最近のトレンドとなった指標である経常収支差について, 私立医科大学の平均を上回る水準を早期に達成する。

事業計画の概況（1/5）

教育について(医学部)

- 平成29年4月に医師国家試験対策強化委員会を立ち上げ、様々な積極的な取り組みを展開してきた結果、平成29年度の新卒合格率は29私立大学中14位(95.4%)、平成30年度は12位(94.4%)まで上昇
- 入学時の成績と卒業試験の成績、CBTの成績と国家試験の合格率との相関などを分析してきた結果、入学してからの1年間の過ごし方が極めて重要であることがはっきりしてきたことを受け、1学年次の学生には、これを反映させた教育内容を取り入れ、高い目標を掲げて医師国家試験の合格率向上に努める。

事業計画の概況（2/5）

教育について（看護学部）

- 看護師国家試験では、平成30年度の卒業生全員が合格、4年連続で合格100%。
- 長久手高等学校との高大連携事業も充実した「医療看護探究コース」第2学年生へのプログラムが展開され、令和2年度は第3学年生へのプログラム、複数学年でのプログラムへと継続。また、令和4年度からの開始に向けて新しいカリキュラムの検討をスタート。

事業計画の概況 (3/5)

申請件数
(募集年度ベース)
H28: 128件
H29: 182件
H30: 227件
H31: 209件
R 2: 216件

研究について

- 科学研究費申請は、「Jump up作戦」を継続し、2020年度分として216件申請。
- 研究創出支援センターの活動も充実し、研究支援部門では大学院生を中心とする指導実績19件・英文論文7報・共同研究論文8報となり、バイオバンク部門ではバンキングが4診療科から7診療科に拡大され、長久手市民を対象としたバンキングも開始される段階にきた。
- 令和2年度予算では、研究のさらなる活性化を目途に研究業績分析プラットフォームの導入、私学助成を活用してプロテオミクス解析に基づく治療標的分子同定システムの導入等研究活動の支援を積極的に行う。

事業計画の概況（4/5）

診療について

- 令和元年上半期（新病院開院後5年半）の診療指標では、精神神経科を除く病床稼働率91.2%（昨年90.9%），平均在院日数10.1日（昨年10.1日），手術件数1,105.5件／月（昨年1,037.8件），外来患者数2,617.4人／日（昨年2,609.6人）となり，高機能・高回転の病院として，更に高い成果を示す。令和元年度下半期では，病床稼働率が更に上昇。
- 医師の働き方改革を推進するため，診療の補助（特定行為）を実施することができる看護師の指定研修機関として研修を開講しその育成をすること，地域医療連携体制の強化により，患者の円滑な紹介・逆紹介を推し進めること，現行の当直体制を見直し，上級医による専修医・臨床研修医への診療指導，各診療科当直医師と連携した円滑な入院受入体制の実現など医療安全の向上を図りつつ，直接間接問わず着手する必要がある。

事業計画の概況（5/5）

外部評価

- 大学基準協会による大学評価
- 病院では，日本医療機能評価機構による病院機能評価一般病院3
- この受審を機に，全職員がさまざまな「改善」に取り組み，「自己実現」に磨きをかけ，本学ならではの「独自性」を獲得できることを期待。

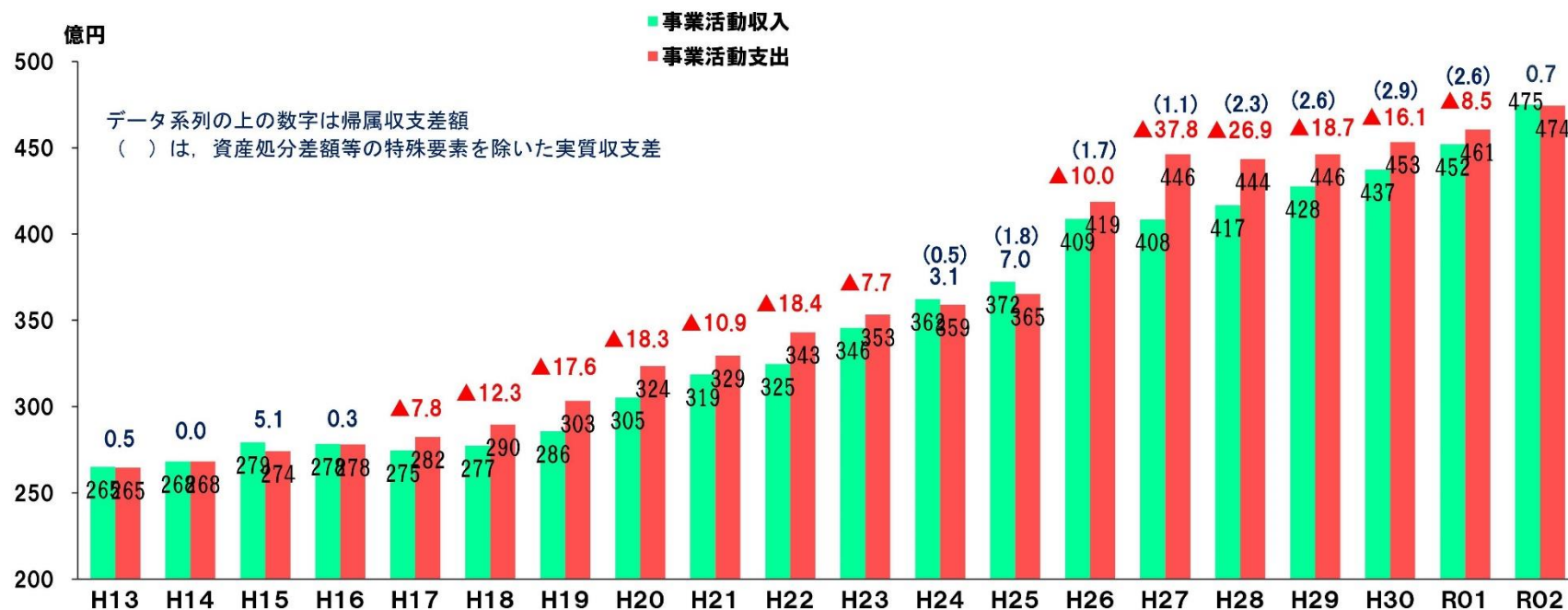
予算規模の推移

令和2年度の予算状況は、

事業活動収入 475億0,440万余円

事業活動支出 474億3,473万余円

となっており、事業活動収支差額は6,967万余円の黒字となっています。



※ 過年度の予算額は年度当初予算額である。

教育・研究に関する重点事業

(1-1) 教育環境の整備

講義室 椅子の修繕

- 大学本館の講義室で、椅子の座面の破損が著しい167脚を修繕する。(3,420千円)



学務情報システムサーバー更新

- 保守契約終了による更新。看護学部で使用するシステムと同一業者のものとし、両学部を一本化する。(6,094千円)

看護学部棟及びC棟講義室等における視聴覚機器の更新

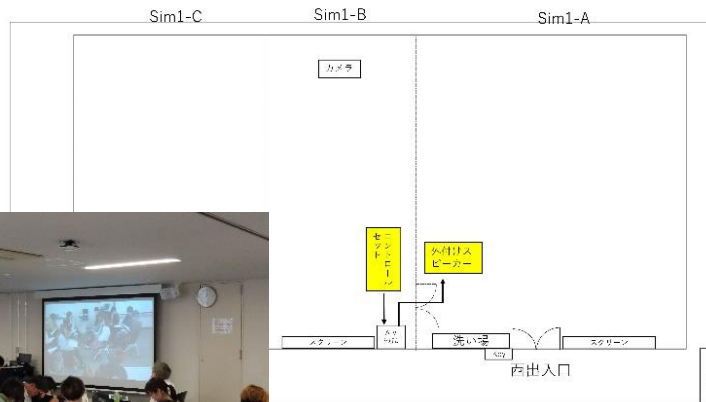
- 平成12年導入の視聴覚機器の更新。(プロジェクター, スクリーン等)
(21,370千円)

教育・研究に関する重点事業 (1-2) 教育環境の整備

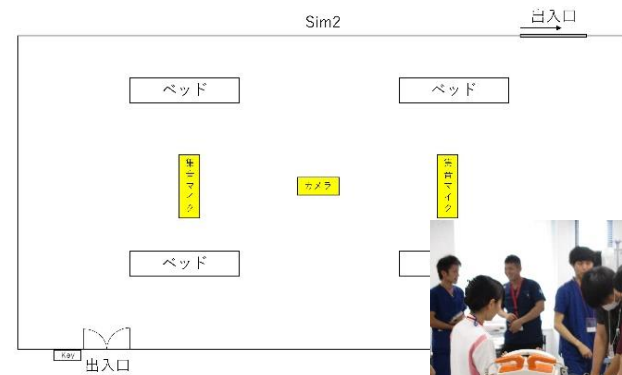
シミュレーションセンター1・2の改修

- ・ シミュレーションセンター2(C棟6階)にカメラ、マイク等を整備, シミュレーションセンター1をカメラコントロールができるように改修し, 学習者が隔離されたリアリティある環境下でシミュレーションを実施できるようにすることで, 教育の質の向上を図る。(1,720千円)

シミュレーションセンター1 間仕切り配置図



シミュレーションセンター2 配置図



教育・研究に関する重点事業

(2) 医学教育改革

SIUへの教員研修派遣事業

- ・ 診療参加型臨床実習への取り組みが先進的な本学協定校のSIU(南イリノイ大学)へ本学教員を派遣し、現地研修で習得した手法を本学の臨床実習改革に役立てる。(3,173千円)

教員の研修事業

- ・ 多彩な研修を実施し、全教員に対してスキルアップ^oの機会を多く提供し、継続的な教育改革を実施する。
- ・ 宿泊研修、学内でのFD・講演会、セミナー等開催、他大学視察 (3,909千円)



教育・研究に関する重点事業

(3) 特定資産を財源とする事業

教育研究活性化引当特定資産を財源

- 医学部若手研究者に対する教育研究奨励助成を実施する。(6,003千円)
- 看護学部若手研究者に対する研究助成を実施する。(1,500千円)

国際交流推進引当特定資産を財源

- 外国人研究者に対する滞在費助成を実施する。(5,273千円)



教育・研究に関する重点事業

(4-1) 研究環境の整備

プロテオミクス解析に基づく治療標的分子同定システム

- LC-MS/MS 質量分析計
 - 蛍光顕微鏡画像システム
 - フローサイトメーター
- (84,071千円)

大型高圧蒸気滅菌装置(オートクレーブ)の更新 実験動物部門

- 30年以上使用して老朽化したオートクレーブ設備を更新し、動物実験ガイドラインを遵守した適正な動物実験を持続的に実施できる研究環境を整備する。(20,790千円)



LC/MS/MS法中毒分析システム

- 愛知県警等からの依頼を受けて行う法医解剖と、これに伴う各種検査に使用する機器の更新。(15,000千円)

教育・研究に関する重点事業

(5) 研究活動の活性化

研究業績分析プラットフォームの導入

- ・ 英語論文による研究業績把握のため、ツールを導入し、研究業績の利活用を図る。
(5,788千円)

私立大学研究ブランディング事業

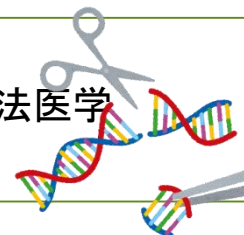
- ・ 健康維持・増進を支える次世代先制地域医療：炎症評価コホート研究 (37,526千円)

研究創出支援センター1階施設のバイオバンク施設への改修

- ・ 私立大学研究ブランディング事業研究遂行に当たり、採取した生体資料の保管前処理や管理、保管に係る業務を一括して行うことができる場所が必要となるため、研究棟1階の研究創出支援センターセミナー室を改修する。
(15,122千円)

基礎研究医養成活性化プログラム

- ・ 基礎研究医養成活性化プログラムを実施し、基礎研究医および及び病理学・法医学研究医を養成する。(750千円)



教育・研究に関する重点事業

(6) 教員評価制度

教員評価制度の処遇反映

- ・ 処遇反映制度を導入することで、
教員のモチベーション向上を狙う。
(1,200千円)



医療に関する重点事業

(1) 教員の増員

(総額40,067千円)

小児科助教の増員

- ・ 小児診療, 救急診療, 学生・研修医教育の充実を図るため, 病院長枠として病院助教1名分を予算化。



救急診療部教授定数の設置

- ・ 救急診療部の体制強化を図り, 救命救急科との更なる連携強化を推進するため, 救急診療部に教授職を置く。

メディカルクリニック准教授(副クリニック長)定数の設置

- ・ メディカルクリニックの診療体制の充実・強化を図るため, 副クリニック長としての准教授1名の枠を設ける。

医療に関する重点事業

(2) スタッフの増員

(総額115,402千円)

専修医採用事業

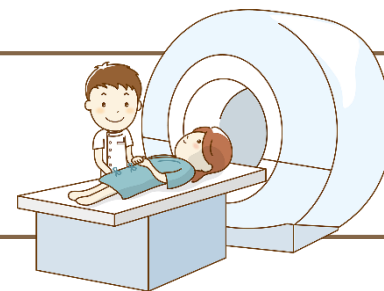
- ・専修医を7名増員採用する。専修医当直においては、救急搬送された一次・二次救急患者のファーストタッチを担う。

看護師・助産師の非常勤職員(パート職員)の人件費

- ・子育てや介護によりフルタイム勤務が不可能な看護職員に対し、正規雇用から非常勤雇用の身分替えを流動的に運用できる体制を整備するため、パートの看護職員を7名増員する。

診療放射線技師の増員

- ・診療放射線技師を2名増員し、オーアームシステムやCT検査に伴う3D作成等の業務増加に対応する。



調剤業務に対するSPDスタッフの増員

- ・調剤後の薬剤師ダブルチェックを行うため、薬剤師3名を監査業務に充て、SPDスタッフ3名をピッキング業務に配置する。

医療に関する重点事業

(3) 診療活性化対策

認定看護師教育課程受講に係る奨学金制度

- ・奨学金貸与制度の導入で研修終了後継続して組織にコミットし成果を出すことを期待するため、2020年度から受講費の助成ではなく、奨学金を貸与し組織支援する奨学金制度を開始。(28,600千円)



「看護師の特定行為研修」指定機関事業

- ・指定研修機関として運営開始予定。R2年度は院内受講生21名を予定。(2,723千円)

外来化学療法センター増床計画

- ・外来化学療法センターの患者数の増加に伴い、待ち時間の延長、センターの終了時刻の遅延が深刻化しているため、ベッドをチェアに5床切り替えるとともに、チェアを2床増床して対応する。(4,280千円)

診療活性化対策費(病院長インセンティブ)の支給

- ・病院長が入院外来診療報酬請求額の前年度対比を評価指標としたり、各種項目を裁量評価したりして、頑張った診療科等に病院長インセンティブを支給する。(72,000千円)

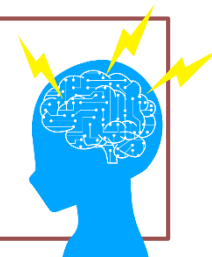
医療に関する重点事業

(4-1) 診療用機器の整備

(総額620,571千円)

定位的脳手術システムの導入

- ・ 定位的脳手術システムを導入し、不随意運動において薬剤コントロールが困難な例に有効な脳深部刺激(DBS)を施行する。



旧病院から移設した機器が老朽化したため更新

- ・ 血管撮影装置(2台)
- ・ 1.5T全身用磁気共鳴断層撮影装置
- ・ CT撮影装置

メーカーサポート終了に伴う更新等

- ・ ARIAサーバー(放射線治療情報システム)
- ・ マンモグラフィ画像撮影システム及び所見レポートシステム
- ・ Kada-Rec2(透視画像記録装置)

医療に関する重点事業

(4-2) 診療用機器の整備

(総額34,704千円)

ドクターカー更新

- ・ 現在運行しているドクターカー(H18年度購入)が老朽化しているため買い替える。



医療に関する重点事業

(5) 病院運営管理の強化

(総額37,313千円)



医業未収金回収業務の法律事務所への一部委託

- 現在医事課職員が行っている医業未収金回収業務の一部を法律事務所に委託し、回収率向上を図る。

施設基準項目を一元管理する施設基準管理システムの導入

- 複雑化する施設基準に対応するため、施設基準管理システムを導入し、届出済施設基準とその従事者に関する情報を可視化する。

病院情報システム更新に関する調査及び医療情報システム導入支援業務委託事業

- 医療情報システム導入支援業務委託契約を継続し、次期システムの導入管理、システム会社との調整及び導入後の管理などを委託する。

BCP(業務継続計画)における災害対応事業

- 医療機器や棚の固定工事、災害用トイレセットの整備を行う。

病院機能評価機構「一般病院3」受審事業

卒後臨床研修センターの備品(机・椅子)の更新

- 研修環境を改善することで、研修の質を高め、意欲の向上に繋げる。

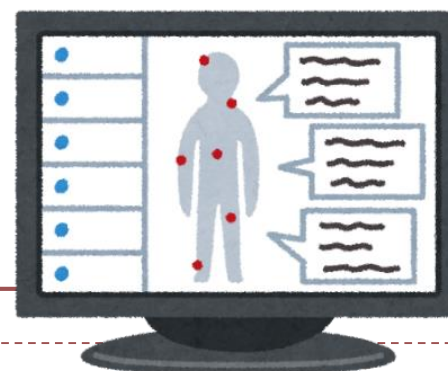


医療に関する重点事業

(6) 医療情報システム更新関連

医療情報システム更新

- H25年からH26年にかけて導入した電子カルテシステム(各部門システムを含む)が稼働後6～7年経過する。サーバー、パソコン等の各機器の老朽化やシステム・ソフトウェアの陳腐化に対処し、システムの信頼性と利便性の向上を図る。
(2,600,000千円)



医療に関する重点事業

(7) 継続事業

病院広報促進事業

- ・アピールポイントを積極的に対外発信することで、ブランドイメージアップに努める。
(14,464千円)

大学院学生(NP)奨学金

- ・愛知医科大学病院大学院学生(NP)奨学金の貸与を継続する。(2,400千円)

先進医療推進事業

- ・病院の基本方針のひとつである「先進的医療技術の開発・導入・実践の推進」に従い、先進医療が認められるための実績づくりに必要な経費を予算措置し、確保する。
(10,000千円)

メディカルクリニック広報事業の強化

- ・7診療科の診療を毎日行っていることなどの新体制を周知し、新たな患者の獲得並びに外来患者数の増加を図る。(5,434千円)



法人・大学運営に関する重点事業

(1) 建物修繕

(総額318,622千円)



特高変電所 特高変圧器更新工事

- ・1987年の設置から32年が経過する特高変電所の特高変圧器3基を更新する。



1号館(大学本館)外壁等補修工事

- ・1号館(大学本館)は竣工から20年が経過し、外壁のシーリング防水が寿命を迎えて各所で漏水の報告がある。4年計画で全面的な外壁防水補修工事を行うことで、室内への漏水を防ぎ、室内の機能を維持する。



C, D棟省エネルギー化事業(変圧器更新)

- ・C, D棟の各電気室において、竣工当初から更新されていない変圧器9基を更新する。C棟は38年、D棟は32年が経過しており、期待寿命25年を超過し、経年故障による停電等の恐れがある。

法人・大学運営に関する重点事業

(2) その他

駐車場管理用PHS端末(非常通報・遠隔制御装置)に係る更新工事

- PHS回線のサービスが終了に伴い、その回線を使用して稼働する学内駐車場ゲートインターホンを、携帯電話回線に更新する工事を実施する。(6,000千円)

看護学部開設20周年に伴う記念事業の実施

- ①記念式典の実施 (2,538千円)
- ②20周年記念誌の制作・配布
- ③記念品の制作・配布
- ④HP等による開設20周年を周知する広報の展開(動画作成等)

50周年記念事業調整費

- 2022年度(令和4年度)に本学が創立50周年を迎えるにあたり実施する記念事業を策定する。(1,000千円)

法人・大学運営に関する重点事業

(3) 立石池外周道路（第2期）拡幅事業

道路拡幅工事

- ・長久手市施行事業として実施するにあたり、用地買収に協力する。(64,570千円)

